

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2017年8月調査結果-

調査概要

- 調査期間 2017年8月8日～31日
- 調査対象 200社
- 回答企業 105社
- 回収率 52.5%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の8月の状況を見ると業況DIは、前月より6.8ポイント回復の1.9となった。

2014年4月以来41ヶ月ぶりにプラスに転じた。

業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業の4業種において回復した。

※向こう3か月の先行き見通し業況DIは0.0と当月に比べ1.9ポイント悪化を見込んでいる。

業種別でみると、製造業、小売業で悪化が見込まれている。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2017年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 2017年9月～11月
業況	▲17.0	▲12.8	▲8.1	▲3.7	▲4.9	1.9	0.0
売上	▲ 9.0	▲ 0.9	1.8	5.6	9.7	4.7	8.5
採算	▲19.0	▲7.3	▲6.3	▲8.3	0.9	▲1.9	▲0.9
仕入単価	▲32.0	▲32.1	▲33.3	▲31.5	▲27.2	▲24.7	▲23.8
従業員	24.0	23.0	27.9	25.9	32.1	29.5	33.3
資金繰り	▲10.0	▲10.1	3.6	▲3.7	1.9	7.6	▲1.9

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2017年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 2017年9月～11月
建設	▲ 8.7	0.0	7.4	11.6	19.3	4.0	4.2
製造	7.7	7.7	8.0	▲4.2	4.4	11.5	0.0
卸売	▲35.0	▲29.2	▲25.0	0.0	▲22.7	▲5.0	5.0
小売	▲35.7	▲11.8	▲18.7	▲29.4	▲21.4	▲6.7	▲13.4
サービス	▲29.4	▲35.0	▲21.0	▲5.6	▲16.7	0.0	0.0

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	・官民とも大型工事の発注が行われ、期待感は大きい（総合工事） ・新築請負工事が順調で、業況は安定（建築） ・職人不足(建築) ・新卒・中途採用ともに採用はさらに厳しさを増している（総合工事） ・経営面、技術面では絶えず一歩踏み出す事を心掛けている。社員の社会人としてのスキルアップ・精神を機会あるごとに話している（設備その他）
製造業	・原材料(農作物)の仕入単価が下落(昨年比)、採算が好転。今年末まで売上は順調に推移する見込（食料品） ・6月の展示会の効果が出始め、受注がやや上向き。地域未来投資促進法の好影響が期待される（家具木材） ・消費税増税を警戒。むしろ減税して一般消費を増やしてほしい。地方に人がいなくなる(加速する)（金属窯業他） ・印刷業界として景況感に大きな変化はない（印刷出版） ・昨年の設備投資後、残業を出来るだけせず集中力を持って時間内に仕事をこなす様、社員共々チャレンジしてきた。固定の削減、売上等に結果として効果が表れてきている（金属窯業他） ・労働力（専門職）の確保（印刷出版）
卸売業	・前年度と同等の業況といえる(機械鋼材) ・当社の売上は道外で主に東北震災に係わる売り上げもあり当月は変わらず、但し道内での受注は前年対比減。現在は新規投資を控えている状況。仕入単価は鉄業界が多少上昇していると思われますが、手持現物があるので対応している（機械鋼材） ・石油製品全般において仕入価格に大きな変動がなく、しばらくは現状のまま推移するものと思われます（その他）
小売業	・主原料であるアーモンドの値動きを注視(食料品) ・従業員不足が解消されない（その他） ・サマーセールは8月中旬まで行い、お盆の帰省客の購買を狙います。（春夏商品の在庫を減らす為）8月は季節の変わり目、秋物商品が全て揃っておらず売上を見込む事が出来ず。観光客は台湾、香港人がセールパネル(店頭)を見て少し入店される。売上はあまり見込めません（衣料品） ・業界の業況は最悪（その他）
サービス業	・国際線チャーター5便の就航により外国人旅行客の増加から宿泊が好調。9月以降は前年並みの見通し（ホテル旅館） ・夏まつりや観光シーズンにより売上が増加。悪天候による野菜等の値上げが心配（飲食） ・オリーブオイルが今後値上りするらしく困っている。また良い人材が全く集らなく困っている。 今月は、天候不順により稼ぎ時のお盆が全く振るわなかった（飲食） ・外国人のお客様、いわゆる FIT(個人手配の海外旅行)増。サービス向上がカギ(運送) ・全道に展開しているリネンサプライ業では運賃の 50%不足。上がりで利益率が減少して採算が悪化、値上げをお願いしている。また 10 月 1 日より最低賃金が上がり人件費が月 140 万円増、年間約 1700 万増となり、後半は厳しい経営となる（クリーニング） ・賃金や休暇を増やす等、労働条件の改善に取り組んでいるが新卒者の雇用には繋がっていない（その他） ・個人消化が低下(冷え込み)、車の修理をしない人が多くなった（整備） ・例年の閑散期に動きがあるので、運収増。人手不足ではあるものの閑散期の経費削減にもなっているが、繁忙期の人手は不足、世代交代が進まない。（運送）

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	売上 DI11.2 ポイント悪化、採算 DI3.7 ポイント悪化、仕入単価 DI6.6 ポイント回復、資金 DI16.5 ポイント回復、従業員 DI1.9 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 15.3 ポイント悪化となった。業種別では、設備その他 22 ポイント回復、総合工事 46 ポイント、建築業 10 ポイント悪化となった。官民とも大型工事の発注が行われ、期待感は大いとの声も寄せられている。
製造業	売上 DI17.9 ポイント悪化、採算 DI5.9 ポイント悪化、仕入単価 DI3.0 ポイント回復、資金 DI4.9 ポイント悪化、従業員 DI1.5 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 7.1 ポイント回復となった。業種別では、家具木材で横ばい、食料品 20 ポイント、印刷出版 10 ポイント、金属窯業他 2 ポイント回復となった。原材料（農作物）の仕入単価が下落（昨年比）、採算が好転。今年末まで売上は順調に推移する見込との声も寄せられている。
卸売業	売上 DI0.5 ポイント悪化、採算 DI10.4 ポイント悪化、仕入単価 DI1.8 ポイント悪化、資金 DI9.1 ポイント悪化、従業員 DI3.2 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 17.7 ポイント回復となった。業種別では、機械鋼材横ばい、繊維・衣服等 100 ポイント、食料品 22 ポイント、その他 8 ポイント回復となった。当社の売上は道外、主に東北震災に係わる売り上げもあり当月は変わらず、但し道内での受注は前年対比減との声も寄せられている。
小売業	売上 DI34.3 ポイント悪化、採算 DI5.7 ポイント悪化、仕入単価 DI1.0 ポイント回復、資金 DI1.4 ポイント回復、従業員 DI9.0 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 14.7 ポイント回復となった。業種別では、その他 20 ポイント悪化。衣料品横ばい。食料品 58 ポイント、自動車 25 ポイント回復となった。従業員不足が解消されないとの声も寄せられている。
サービス業	売上 DI37.1 ポイント回復、採算 DI11.1 ポイント回復、仕入単価 DI2.1 ポイント回復、資金 DI26.9 ポイント回復、従業員 DI3.2 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 16.7 ポイント回復となった。業種別ではホテル旅館 25 ポイント悪化、理美容クリーニング・飲食横ばい、その他 25 ポイント、整備業 33 ポイント、運送業 83 ポイント回復となった。賃金や休暇を増やすなど労働条件の改善に取り組んでいるが新卒者の雇用には繋がっていないとの声も寄せられている。